

第8回 京奈和自動車道（大和北道路） 環境影響評価検討専門部会〔議事要旨〕

1. 開催日時

平成18年 7月14日（金） 14:00～16:15

2. 開催場所

奈良県新公会堂 会議室

3. 出席者

池田有光、小船武司、○斎藤峻彦、瀬林伝
〈敬称略、五十音順、○印は部会長〉

4. 議事

本日の専門部会では、第7回専門部会（現地視察）の委員コメントの説明、及び環境影響評価準備書（案）の審議を行い、委員からの意見を頂いた。委員からの主な発言は以下のとおり。

《総論》

- 準備書の作成にあたっては、表現をわかりやすくすること。
- 現地調査や予測評価、環境保全措置の検討の流れを的確に記載すること。特に予測評価の計算を第三者が追跡できるようにすること。
- 換気塔の高さの根拠については、表現をわかりやすく記載すること。
- 道路構造の種類など、内容をわかりやすく記載すること。

《各論》

- 予測地域や予測地点の考え方は、地域特性等を踏まえ記載すること。
- 騒音等については、環境保全措置の妥当性や事後調査の必要性を検討すること。
- 一般的な鳥類への影響は極めて小さい、オオタカへの影響は小さいと予測された結果は適切であると考えられる。
- オオタカは繁殖期に注意が必要である。建設機械の稼働による影響を予測評価し、低騒音型建設機械の採用等により環境へ配慮することは適切である。
- オオタカの事後調査については、環境省の猛禽類保護の進め方による調査方法が続けること。なお、今後新しい事実がわかれば、検討や対策が必要である。

以上の意見及び欠席委員の意見を踏まえ、今後事務局において、環境影響評価準備書（案）の内容について更に検討を進めることとなった。